

# 消防団を支える企業の取組をご紹介します！

## 中国化薬株式会社

VOL.2

### 会社概要

1947年に創立され、防衛火工品、宇宙ロケット用加工品、産業火薬品、医薬品原薬から健康食品まで多様な製品の製造及び販売を行っています。「安全は全てに優先する」を基本理念とし、地域を含めて公共の安全を最優先に考えています。



(左側) 江田島工場 専門職課長  
小島 一郎 さん  
(右側) 江田島市消防団 南分団員  
浜原 昂久 さん

### ◇ 消防団員の活動 ◇



#### ■ 消防団に入ったきっかけ

父が消防団員で、幼い頃から放水訓練などの消防団活動を行う父の姿を見て「かっこいい！」と思っていました。入団の決め手は、父の姿へ憧れたこと、そして、生まれ育った地域への貢献をしたいという強い気持ちでした。

#### ■ 普段の活動

実際に発生した火災や台風、水害等の対応をしています。台風が近づいた時に地域の防潮扉を閉める作業も、消防団員の大事な役目です。普段の訓練では、可搬ポンプの操作確認や装備品をチェックしたり、放水訓練などを行っています。私が所属している分団では月に1回、1時間程度訓練があつて事前に連絡があるほか、年に2、3回程度、半日程度の訓練があります。



消防団訓練風景



### ◇ 消防団協力事業所の取組 ◇

#### ■ 協力事業所になったきっかけ

中国化薬株式会社は、主に火薬を製造している会社で、事業を行う上で消防行政とは強い関わりがあります。事業所には自衛消防隊があり、そこで、消防団で受ける教育訓練の知識や技量が活かせるということもあって、協力事業所に登録しています。

#### ■ 消防団員が活動しやすい企業の制度

消防団員が火災や災害で活動する場合は、特別休暇の扱いとしています。仕事に出勤する場合は、工場長に出勤する一報を入れ、あとから特別休暇の申請をすることで迅速な出勤ができる制度になっています。一昨年も山火事での出勤や、県の防災訓練への参加などで、特別休暇を使って活動したケースがありました。

#### ■ 社内の消防団への理解と期待すること

火薬製造業であることから、従業員には消防に対する理解があります。これまで、江田島市消防本部と合同での自衛消防訓練や、工場長が危険物安全協会の会長を10年務めるなど、消防団活動に理解がある風土を作り上げてきました。消防団での活動で技術を磨き、防災意識を高め、自衛消防隊の訓練時や実際に災害が発生した際に、リーダー的役割を担い、率先して活動してもらうことを期待しています。

#### ■ 仕事と家庭、消防団活動のバランス

職場は活動への配慮があるので活動しやすいです。訓練日は予定を入れないようにしていますが、訓練日以外で家族との時間を作っているため、両立が大変だと思ったことはないです。「強制的じゃないけんね、用事があつたらそっちを優先していいけんね」と声掛けもあり、活動しやすい環境です。

#### ■ 入団を考えている方に向けて一言！

一度、気軽に訓練見学に来てください。自分の目で見て体験してみると、リアルに活動を知ることができます。難しく考えず、是非一緒に活動しましょう！また、江田島市消防団はInstagramで分かりやすく情報発信をしています。是非見てください！

【公式】江田島市消防団Instagram  
[https://www.instagram.com/shobodan\\_etajima\\_city/](https://www.instagram.com/shobodan_etajima_city/)

